



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大内 雅雄  
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	432	20.4	△10	—	△9	—	△166	—
2020年6月期第1四半期	359	△13.9	△15	—	△14	—	△12	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 △166百万円 ( —%) 2020年6月期第1四半期 △12百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	△11.37	—
2020年6月期第1四半期	△0.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,604	3,100	84.7
2020年6月期	3,649	3,311	89.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 3,052百万円 2020年6月期 3,263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

2021年6月期の業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。※詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期1Q	14,791,600株	2020年6月期	14,791,600株
2021年6月期1Q	145,800株	2020年6月期	145,800株
2021年6月期1Q	14,645,800株	2020年6月期1Q	14,632,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式（2021年6月期1Q：145,800株、2020年6月期：145,800株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限され、企業収益や雇用・所得環境は急速に悪化しました。政府主導の各種政策により段階的に経済活動レベルは引き上げられましたが、いまだ収束の目処は立たず、景気の先行きについては極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化及び収益改善の実現を目指し、カーシェア車載機の後継機の開発に着手したほか、作業者の健康と安全を見守る「Work Mate」、AI解析で製造業のお客様の製品不良要因を特定し、品質改善と技術承継をサポートする「D-COLLECT」、会議室管理サービス「ROOM CONCIER」のブラッシュアップや製品展開に注力してまいりました。なお、当社グループにおいてはテレワークや時差出勤などを継続するとともに、リモートシステムを活用した商談など感染症拡大防止への対応を図りながら営業活動を行っております。また2020年9月25日開催の定時株主総会で承認された新経営体制の下で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場環境の変化も踏まえた上で、新しいサービスの加速度的な販売拡大を図ることを最優先課題と位置づけ、事業ポートフォリオの最適化や今後の事業展開について抜本的な見直しを行っております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は432百万円（前年同四半期比20.4%増加）、営業損失は10百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）、経常損失は9百万円（前年同四半期は経常損失14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失はテレマティクス車載機製品の自主回収費用として製品自主回収関連損失引当金繰入額159百万円を特別損失に計上したことにより、166百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、カーシェア車載機の出荷台数は減少したものの、テレマティクス車載機の受注が増加傾向にあることから、売上高は前年同四半期比で増収となりました。セグメント利益は、売上構成の変化及び無形固定資産に係る減価償却費が増加したこと等により、前年同四半期比で減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は187百万円（前年同四半期比22.0%増加）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比43.1%減少）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、通信アミューズメント機器については新型コロナウイルスの影響を受け、販売台数が減少しましたが、紙幣鑑別センサモジュールの受注が増加傾向にあることから、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は177百万円（前年同四半期比69.1%増加）、セグメント利益は27百万円（前年同四半期比77.9%増加）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、前期に引き続き、医用分野における開発案件の規模縮小の影響を受け、売上高は前年同四半期比で減収となりましたが、外注業務の内製化を進めたこと等により、売上高総利益率が改善し、赤字幅は縮小しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は67百万円（前年同四半期比33.1%減少）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,604百万円となり、前連結会計年度末から45百万円減少しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が38百万円増加、現金及び預金が61百万円、電子記録債権が18百万円減少しております。

### (負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は504百万円となり、前連結会計年度末から165百万円増加しております。主な内容としましては、製品自主回収関連損失引当金が159百万円、電子記録債務が16百万円増加し、未払法人税等が9百万円減少しております。

### (純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,100百万円となり、前連結会計年度末から211百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失166百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループといたしましては、紙幣鑑別センサのキャッシュレス化による市場規模の縮小の影響や通信アミューズメント機器およびカーシェア車載機の新型コロナウイルスの影響による販売減少が懸念される中、IoTに係る新製品・新サービスの開発及び新規顧客の獲得を目的とした販促活動を進めながら、新たな収益基盤の確立・創出に積極的に取り組んでおります。

また営業活動につきましては、リモートシステムを活用した商談など感染症拡大防止への対応を図りながら行っておりますが、顧客側での予算縮小による投資抑制やトライアル開始時期の先送り等の動きが見られ、導入実績は着実に増加しているものの、販売拡大には時間がかかることが予想されます。

このような状況下の中で、当社グループでは2020年9月25日開催の定時株主総会で承認された新経営体制の下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場環境の変化も踏まえた上で、事業ポートフォリオの最適化や今後の事業展開について抜本的な見直しを行っております。

以上により、2021年6月期の業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難な状況のため、未定といたしました。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,724,564	2,663,102
受取手形及び売掛金	443,393	481,441
電子記録債権	32,590	13,728
製品	64,237	59,110
仕掛品	4,162	11,517
原材料及び貯蔵品	54,681	52,816
その他	29,396	27,600
貸倒引当金	△341	△315
流動資産合計	3,352,685	3,309,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△23,073	△24,090
建物及び構築物(純額)	42,143	41,126
工具、器具及び備品	199,726	199,859
減価償却累計額	△171,968	△175,328
工具、器具及び備品(純額)	27,758	24,531
建設仮勘定	—	1,719
有形固定資産合計	69,901	67,376
無形固定資産		
その他	170,594	169,675
無形固定資産合計	170,594	169,675
投資その他の資産		
繰延税金資産	17,195	19,716
その他	39,526	38,336
投資その他の資産合計	56,722	58,052
固定資産合計	297,218	295,104
資産合計	3,649,903	3,604,105

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,871	78,103
電子記録債務	109,853	126,807
未払金	16,365	22,198
未払法人税等	13,384	3,567
賞与引当金	1,826	7,304
製品自主回収関連損失引当金	—	159,000
その他	46,726	42,421
流動負債合計	276,027	439,403
固定負債		
株式給付引当金	42,015	43,940
退職給付に係る負債	20,691	20,691
固定負債合計	62,706	64,631
負債合計	338,734	504,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	1,718,276	1,507,363
自己株式	△51,262	△51,262
株主資本合計	3,263,862	3,052,950
新株予約権	14,876	14,876
非支配株主持分	32,429	32,243
純資産合計	3,311,168	3,100,070
負債純資産合計	3,649,903	3,604,105

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	359,225	432,438
売上原価	281,863	349,831
売上総利益	77,361	82,606
販売費及び一般管理費	92,512	92,702
営業損失(△)	△15,150	△10,095
営業外収益		
受取利息	94	93
為替差益	—	8
生命保険配当金	304	351
その他	17	19
営業外収益合計	416	472
営業外費用		
為替差損	49	—
その他	—	2
営業外費用合計	49	2
経常損失(△)	△14,783	△9,625
特別損失		
製品自主回収関連損失引当金繰入額	—	159,000
特別損失合計	—	159,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,783	△168,625
法人税、住民税及び事業税	617	617
法人税等調整額	△3,060	△2,520
法人税等合計	△2,442	△1,902
四半期純損失(△)	△12,340	△166,723
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△291	△185
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,049	△166,537



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△12,340	△166,723
四半期包括利益	△12,340	△166,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,049	△166,537
非支配株主に係る四半期包括利益	△291	△185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社が生産・販売しているテレマティクス車載機製品の一部において、不具合の可能性が確認されたことから、当該事象発生に伴い運転に及ぼす影響がゼロではないと判断し、対象製品の自主回収を決定致しました。

これに伴い、現時点で合理的に見積りが可能な費用負担見込額を、製品自主回収関連損失引当金として計上しております。今後の状況等によっては、本件に関する費用が追加で発生する可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	153,848	105,042	100,334	359,225	—	359,225
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	153,848	105,042	100,334	359,225	—	359,225
セグメント利益又は損失 (△)	24,577	15,569	△12,369	27,777	△42,928	△15,150

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△42,928千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用△42,928千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	187,702	177,582	67,154	432,438	—	432,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	187,702	177,582	67,154	432,438	—	432,438
セグメント利益又は損失 (△)	13,982	27,702	△6,118	35,566	△45,662	△10,095

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△45,662千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用△45,662千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。